

An aerial photograph of a coastal area. In the foreground, a sandy beach and a pier extend into the blue sea. The middle ground shows a green, hilly landscape with some buildings. In the background, a large, snow-capped mountain rises against a blue sky with some clouds.

庄内海岸松原再生計画の

「多様な主体」の一員として

万里の松原に親しむ会

平成24年6月27日

庄内海岸松原の位置



庄内海岸松原再生計画の推進

1 目的

地域の大いなる遺産である庄内海岸
砂防林を未来につなぐ

2 基本方針

多様な主体の協働による保全活動
砂防林に対する理解を深める活動
砂防林の利活用



3 出羽庄内公益の森づくりを考える会

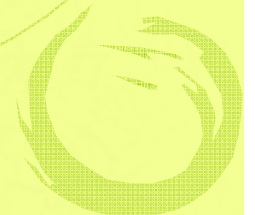
- ・ 行政、森林組合、大学、住民団体、小学校などで組織
- ・ 考える会に、庄内海岸松原再生計画推進部会を設置

4 推進部会での検討内容

再生計画の普及・各団体の位置づけ

再生計画に基づく森林整備を、モデル的に実施

各会員団体の活動フィールドにおける計画の作成

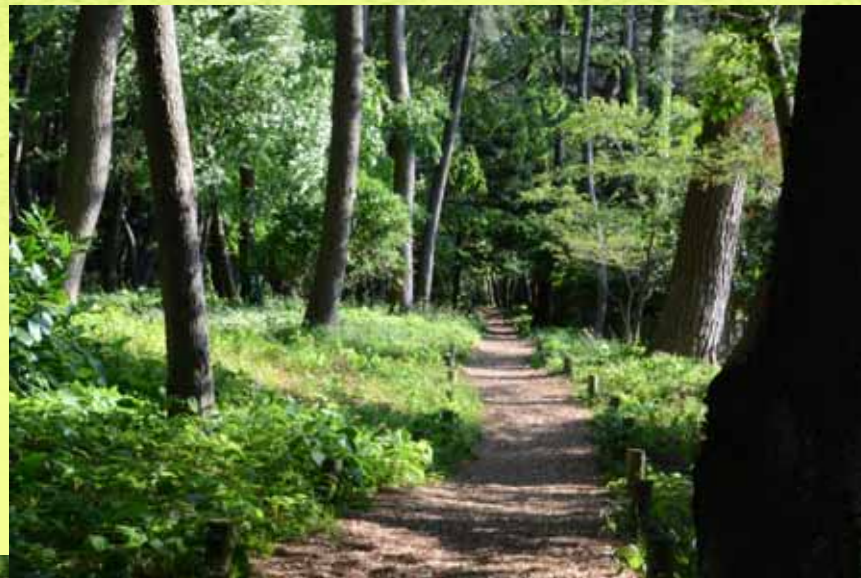


一員としての「万里の松原に親しむ会」は
昨年度、10周年を迎えました

昨年（平成23年）の10周年記念事業
テーマ「子どもと大人・協働の10年」



1 万里の松原の林内に、奥の細道古道を復活 (旧秋田街道・北国街道)



2 10周年記念誌の発行

3 子どもと大人「協働」10年の歩みDVD作成



4 結成10周年記念祝賀会の開催



「万里の松原に親しむ会」

平成23年度活動状況報告

一 会員が知識と経験を出し合い

「楽しく、生きがい、継続」を目標に 一

10周年記念事業を会員の手で成功させた

会員は個人86人、団体14（企業、学校、地域自治会等）に

研修会と交流事業の実施

第9回森の音楽祭の開催



助成事業として

- ・ 県民みんなで支える森・みどり環境公募事業
→ 子どもたちの森林学習、作業体験等の実施



・みどり推進機構助成事業

→ 広報「まつば」年2回：2小学区地域住民むけ

→ 「短信まつば」毎月1回：会と会員を繋ぐ機関誌
 会員の他に関係機関、団体へも配布



「万里の松原に親しむ会」の 平成24年度事業について

10年を経て会員の高齢化が進み、継続が課題

- ・ 元気な会員と女性会員の加入促進
- ・ 事務局体制の強化と役割分担
- ・ 女性会員の研修と活動参加
- ・ ガイドや学習指導の人材育成とテキストの作成
現地研修の充実
- ・ 会員研修の拡充とリーダーの育成が必要である
と考えている

平成24年度の実施状況（第一四半期）

基本活動：下草刈り、せん定、施肥

市と本会共催・山をきれいにしてウォーキング（4 / 28）

第10回森の音楽祭（5 / 26）



育樹活動体験学習支援（小学4年生80名）（6 / 1）
事前学習の上、自然観察林（万里の松原内）で植
樹、下草刈り、通路整備などの作業体験

会員研修

- ・作業安全研修（6 / 1）
- ・「津波と庄内海岸林」（6 / 8）



県・市主催・本会支援

- ・ 県立酒田光陵高校森林ボランティア（ 6 / 2 1 ）
- ・ 光ヶ丘松林整備ボランティア（ 6 / 2 3 ）





県立酒田光陵高校ボランティア





光ヶ丘松林整備ボランティア



今後の活動計画

7月	□海岸林体験事前学習とバス活動（小学校・バス2台）	
	下刈り作業（見晴らしの丘・くだものの森 1回目刈）	
	下刈り作業（つつじ園2回目刈） & 会員交流事業（ビアパーティー）	※短信まつば
8月	※会報まつば第22号発行	
		※短信まつば
9月	万里の松原環境美化活動（市活動の支援）	
	海岸林現地視察	
	下刈り作用（つつじ園3回目）	※短信まつば
10月	□枝打ち作業（小・中学校生環境活動支援）	
	□ “ （ “ ” ）	※短信まつば
	□ “ （ “ ” ）	
11月	□海岸林体験事前学習とバス活動（小学校・バス2台）	
	砂防林を育てよう活動（県支援）	
	□枝打ち作業（小・中学校生環境活動支援）	※短信まつば
12月	剪定作業（くつろぎ広場・見晴らしの丘 他）	
		※短信まつば
1月	会員交流事業（新年会&大抽選会）	
		※短信まつば
2月	※会報まつば第3号発行	
		※短信まつば
3月	樹木の管理（施肥・支柱手直し・地剥ぎ 他）	
	総会諸準備	※短信まつば
注	□印はみどり環境公募事業 ※はみどり推進機構助成関連事業です。 学校関係支援など生徒の参加する活動は、学校行事との関連で日程の変更が伴います。	

松原再生計画の推進と課題

- 推進：多様な主体の協働による最近の実践例

「やまがた森の感謝祭 2012」(6月2日)
いこいの村庄内(鶴岡市海岸林内)地内で、J Tの森
事業が集落と鶴岡市森林組合ならびに出羽庄内公
益の森づくりを考える会構成団体の協力で実施中
(参加者 1,000名余)



「国際ノルディックウォークin湯野浜」
(鶴岡市：6月9・10日)

庄内海岸林と海岸をウォーク
参加者 316名



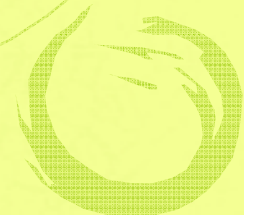
県立酒田光陵高校森林ボランティア（６月２１日）

- ・市内４校が統合して、万里の松原内に今年開校した高校が、全校参加の森林ボランティアに取り組む
- ・地域の歴史を学び、森林の保全活動を通して、地域の一員としての自覚を高めることを、目的としている

佐藤藤蔵の遺志を引きつぐ（遊佐町）

砂丘地砂防林環境整備推進協議会

- ・保全活動に区長会が主体となり、地域住民８００名余の参加
- ・町の小・中学校との協働も継続実施



出羽庄内森づくり事業 10 周年記念

・森づくりフォーラム「津波と海岸林」
(平成 23 年 11 月 5 日)

平成 24 年度も引き続き開催予定



森林環境教育の支援

40 回を予定 (平成 23 ~ 35 年)

県のふれあい講座として、海岸林について
の学習支援



- 課題：松原再生計画の策定後、5年が経過しているが、検討課題として

「海岸林と津波」という視点から、庄内海岸林を考えて行かなければならない

「森林セラピー」という視点を検討する

再生計画の行政機関や各団体の中での位置づけに、時間の経過や担当者の交代に伴う問題



松原再生計画の概要版を作成
関係者の説明を行っている

ゾーニングの活用

ー 保全活動と開発規制等に

「出羽庄内公益の森を考える会」は情報交換を中心とした組織であり、活動推進も担うという問題が課題である

